



農林中央金庫



私たちは持続可能な開発目標（SDGs）
を支援しています。

2022年6月17日
農林中央金庫

サステナビリティ・リンク・ローンの契約締結について

農林中央金庫（代表理事理事長：奥和登）と、DIC 株式会社（社長執行役員：猪野薫、以下「DIC」）は、サステナビリティ・リンク・ローン（以下「SLL」）による金銭消費貸借契約（以下「本件ローン」）を締結いたしました。

SLL は、借り手の経営戦略に基づくサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（以下「SPT」）を設定し、貸付条件を SPT の達成状況に連動させることで、借り手に対し目標達成に向けた動機付けを促進するとともに、環境・社会の面から持続可能な事業活動および成長支援を目指すものです。

DIC は、環境問題をはじめとするサステナビリティを重要な経営課題と位置付けており、脱炭素に貢献する製品・サービスの拡大によって、市場および社会における CO2 排出削減への寄与に向け積極的に取り組んでいます。2021年6月に公表した「DIC NET ZERO 2050」および2022年2月に公表した長期経営計画「DIC Vision 2030」においては、CO2 排出量の長期削減目標として「2030年度50%削減（2013年度比）」および「2050年度カーボンネットゼロ」の実現を掲げており、事業活動を通じて持続可能なグローバル社会の実現への貢献を明確にしています。

また、農林中央金庫は、2021年5月に発表した中長期目標のなかで、2030年までにサステナブル・ファイナンスの新規実行額を10兆円とする目標を掲げるなど、サステナブル経営に向けた歩みを進めており、DIC のサステナビリティ戦略にかかる理念にも共感しています。本件ローン対応を通じて、CO2 排出量削減をはじめとした DIC による気候変動問題の解決に資する取組みを支援してまいります。

DIC は、サステナビリティ活動を推進するうえで、「気候変動への緩和と適応」両面の観点から気候変動課題を4つのマテリアリティ（最重要課題）の一つとして認識し、「2030年度までにCO2 排出量を50%削減（Scope1&2、2013年度比）」する目標を設定していることを踏まえ、本件ローンでは、この目標を SPT に設定いたしました。

なお、本件ローンの契約締結にあたっては、SLL 原則等への適合性について、株式会社日本格付研究所より第三者意見を取得しており、上記 SPT については、野心度および有意義性等の観点から SLL 原則に適合していると評価されております。

【本件に関するお問い合わせ先】

農林中央金庫 企画管理部 広報財務 IR 班 03-6362-7172

【本件ローンの概要】

- 実行日： 2022 年 6 月 17 日
- 融資期間： 10 年
- 資金使途： 長期運転資金

【本件ローンが貢献する主な SDGs】



【参考リンク】

DIC のサステナビリティについて：

<https://www.dic-global.com/ja/csr/philosophy/>

株式会社日本格付研究所による第三者意見：

<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>

以上